

October & November, 2012



嘉目真木子

10 & 11

神奈川県芸術プレス Vol.108

ARTS
PRES

KANAGAWA



写真・大野純一

CREATOR'S VOICE 127 ソプラノ
嘉目真木子

対談 宮本亜門 「マダムバタフライX」

第19回神奈川県国際芸術フェスティバル 続報
丹沢・大山エリアに注目!

華麗なるオペラ&バレエと
モンゴルから馬頭琴のお話と音楽

嘉目真木子

Makiko Yoshime ソプラノ

対談 宮本亜門×嘉目真木子

ネオ・オペラ マダムバタフライX～プッチーニのオペラ「蝶々夫人」より

「オペラ」をテーマとした今年の「神奈川国際芸術フェスティバル」のフィナーレとして、

宮本亜門演出の新作「マダムバタフライX」がKAAT神奈川芸術劇場で上演される。

プッチーニのオペラ「蝶々夫人」をもとに、ジャンルを超えた「ネオ・オペラ」として、

あらためてその魅力を探るといふ。ヒロイン役を演じるのは、

次代を担うオペラ歌手として注目を集めている嘉目真木子。

音楽ジャーナリストの林田直樹氏をナビゲーターに、演出家の宮本亜門と語り合ってもらった。

対話のある現場をめざして

亜門 | 嘉目さんとは、昨年4月、二期会『フィガロの結婚』で一緒に以来ですね。初めて稽古場で嘉目さんを聴いたとき、なんていい声なんだろうと感激したんです。力があって、いろいろな表現ができる声。スザンナの難しい感情表現を見事に声で実現されていると感じました。演技も稽古を重ねるうちにみるみる変わって行って、びっくりしたんです。

林田 | あのスザンナはすばらしかったですね。今年7月には二期会の『パリアッチ(道化師)』の練習と本番を拝見したんですが、声もさることながら、女優のような立ち姿と身のこなしに見とれました。



嘉目 | ありがとうございます。これからもお褒めいただけるように、歌だけでなく演技もしっかり勉強していきたいと思っています。芝居が好きで、よく観に行くのですが、個人プレーで見せる芝居よりも、出演者たちが一丸となってコンセプトを実現させているような舞台を見ると、あぁいいな、役者さんたちも楽しそうだなと思います。

林田 | いまのお話を聞いて、あるプロデューサーが「オペラは対話でなければならない」と言っていたのを思い出しました。演劇もオペラも本来は、作品と演奏者の、舞台と観客、そして出演者同士の対話であるべきですね。

嘉目 | 本当にそう思います。オペラの役作りも、相手役や共演者に合わせて変わってくると思うんです。例えば「ドンナ・エルヴィーラとはこういう女性だ」という自分なりのイメージがあったとしても、実際に稽古が始まると、全体のなかの自分の役割に応じて、求められる解釈が変わってくる場合があります。ですから自分なりのイメージを持ちつつ、チームプレーの一員として、ニュートラルに、柔軟に対応できる部分を作っておく必要があると思っています。

亜門 | それはすばらしい。対話といえば、演出家と歌手のみなさんの対話も非常に大切です。僕はオペラの稽古場で、もっとみなさんとアイデアや意見を自由に出し合い、エネルギーをぶつけ合って、“一丸となって”舞台を作っていきたいと思っています。今回の「マダムバタフライX」でも、ぜひ嘉目さんのバタフライ像を僕にぶつけてきていただけると嬉しいです。

現代から見た「蝶々夫人」

林田 | 「マダムバタフライX」については亜門さんからうかがうとして、まずはプッチーニが描いた「蝶々さん」



という女性像について、嘉目さんからお話しいただけますか。

嘉目 | 一途に愛を貫いた純真な女性、というのが一般的な蝶々さんのイメージですね。たしかにそうなのですが、私は、蝶々さんが子どもを残して死を選んだことに、ちょっと違和感を覚えてしまいます。いろいろな資料を読むと、プッチーニは女性信仰の強い人だったそうなので、プッチーニ自身の理想像が投影されているのかなと思います。

亜門 | 調べると、原作の小説からプッチーニがオペラを作曲する過程で、蝶々さんという女性は、どんどん男性目線で描かれていったような気がするんです。人形のように可愛らしく従順に「耐える女性」に仕立てられていった。しかもそれは、「日本に来たことのない外国人から見た」という条件付きの“理想の日本人女性像”であったような気がします。

僕は、プッチーニの音楽自体が男性目線だと思うんです。あまりにもいとおしく甘美なメロディだから、蝶々さんが美化されて、おっしゃったような身勝手さも前面に出てこない。

林田 | このオペラに対するストレートな反応として、「蝶々さんはかわいそう」「ピンカートンはひどい男だ」

というのがありますが、「かわいそう」と思って
しまうことで、もしかすると、本当の蝶々さんを見失っ
ているかもしれない、と思ったりするんです。

亜門 | 「かわいそう」という感情は、「対等な関係」では
ないですね。ある種の差別が含まれているともいえま
す。このオペラは情緒的に受け止められているところか
あるので、今回、客観性をもってみる事ができるとい
いなと模索しているところです。

演出プランはこれからの稽古でまだまだ変わって
いきますが、いま考えているのは、舞台上6人の歌手を中心
とするオペラ「蝶々夫人」が演じられていて、そのまわり
ではスタッフがコンピュータを操作したり映像処理した
りするようにして現代人の視点を入れます。蝶々さんを
演じるのは生身の女性で、彼女が舞台の上で蝶々さん
に作り上げられていく過程も見せたいと思っています。

林田 | 蝶々さんが誰かに作り上げられたものだ、とい
う見せ方をする、ということでしょうか。想像すると、
あたかも蝶々さんが操られているように見えてくる気が
します。

亜門 | 操られることで浮かび上がるものも見てみたい
と思います。「マダムバタフライX」によって、「蝶々夫
人」があ時代の生んだ大悲劇であることを、現代を
通して描けるといいなと思っています。他に行き場
のない、ギリギリに追い詰められた状況で、なんとか生
きよう、信じようとする15歳の女性、という蝶々さんの
基本的な設定はそのまま踏襲するつもりです。そのう
えで、蝶々さんがどう見えるか——それは、観る方々そ
れぞれに委ねたい。これまでとちょっと違う視点でヒロ
インを観てもらえるのではないかと考えています。

嘉目 | たまに「蝶々さんはなぜ3年も待っていたの？

馬鹿みたい…」と思われてしまうような舞台がありま
すが、演じる側として、それは嫌だなと思うんです。ピン
カートンは結果的にひどい男だったかもしれませんが、
蝶々さんにとっては素敵で誠実な男性だったと
思いたい。そうでなければ一途に信じて、待ち続ける
わけがないと思うのです。少なくとも、蝶々さんと愛を
誓い合う二重唱の瞬間は、二人の間に真実の愛があった
と信じたいです。

お話をうかがって、どのような舞台になるのか、稽古
が楽しみになってきました。精一杯がんばりますので、
よろしくお願いたします。



嘉目真木子(ソプラノ)
Makiko Yoshime

国立音楽大学、同大学院を経て二期会オペラ研修所
修了。修了時に優秀賞受賞。

2009年二期会ニューウェーブオペラ劇場『ウリッセ
の帰還』でフォルトゥーナ、日生劇場『ヘンゼルとグ
レーテル』で露の精を演じ脚光を浴びる。

10年二期会オペラ劇場『魔笛』パミーナで本格的に
デビューを飾り、以後は11年同『フィガロの結婚』
(宮本亜門演出)スザンナ、同『ドン・ジョヴァンニ』
ツェルリーナ、最近では12年同『バリアッチ(道化師)』
ネッダなど、ソプラノの要役を全てオーディションで射
止めて出演。華やかな舞台姿と確かな歌唱力でいずれ
も好評を得、次代のオペラ界を担う逸材として大きな
期待が寄せられている。来年3月より文化庁派遣新進
芸術家海外研修員としてイタリアへ留学予定。二期会
会員

ナビゲーター 林田直樹(音楽ジャーナリスト)

構成 荒井恵理子

写真 大野純一

第19回神奈川国際芸術フェスティバル

ネオ・オペラ マダムバタフライX ～プッチーニのオペラ「蝶々夫人」より

11月10日(土)・11日(日)・14日(水)・17日(土)・18日(日)

各日15:00開演 KAAT神奈川芸術劇場 ホール

作曲:ジャコモ・プッチーニ 編曲:山下康介

美術:伊藤雅子 構成・演出:宮本亜門

出演:嘉目真木子(蝶々夫人)、与儀巧(ピンカートン)、田村由貴絵(スズキ)、

大沼徹(シャープレス)、鈴木純子(ケイト)、吉田伸昭(ゴロー) ほか

全席指定 S8,500円 A7,000円 B5,500円 C4,500円 ほか

インターネット予約(24時間対応) [URL](http://www.kaat.jp/) http://www.kaat.jp/

チケットかながわ ☎045-662-8866(10時~18時)

テーマシンボジウム

「オペラ!/?～ネクスト・ジェネレーションへの試み/から」

10月7日(日)15:00開始 KAAT神奈川芸術劇場 ホール

入場無料/要予約 ※フェス特設ホームページからご予約ください。

出演:一柳慧(作曲家)、宮本亜門(演出家)、茂木健一郎(脳科学者)、

田尾下哲(演出家) ほか

第19回神奈川国際芸術フェスティバルを楽しもう!

①フェス参加の他公演・展覧会チケット半券を、「マダムバタフライX」会場内特設
カウンターでご提示の方に、「オペラグラスレンタル無料+ウェルカムドリンク」券
をプレゼント!(各公演先着40名様)

②フェス参加公演・展覧会のチケット購入でテーマシンボジウムに優先ご招待!

COLUMN 今月の小コラム

嘉目真木子さんにQ&A

—九州・大分県のご出身とうかがいました。横浜
デビューはいつでしょう?

おじが横浜の山下町に住んでいまして、高校卒
業後、遊びに行き、中華街に連れていってもらいま
した。お洒落で開放的なイメージのある街だなあと
思ったのを覚えています。

—芝居を観るのが好きとおっしゃっていましたね。
どういう芝居がお好みですか?

シェイクスピアが好きです。時代はまったく違うの
に、現代の人間にも通じる場所があって、いつも

楽しく観ています。どちらかというと、脇をしっかり
固める職人タイプの俳優を観るのが好きですね。
大分では芝居の上演が少なかったため、東京に出
てきてから観るようになりました。KAATでもぜひ
いろいろなタイプの舞台を楽しみたいと思います。

—横浜でお好きなスポットがありましたら。

山下公園ですね。海を見ながら、のんびり散歩
できる、素敵な場所です。KAATからも近いの
で、稽古の合間に散歩できたらいいなと思ってい
ます。

第19回 神奈川国際芸術フェスティバル 続報



さわひらき「airliner」2003年



さわひらき「record」2010年

前号でラインナップを掲載した「神奈川国際芸術フェスティバル」から、10月～11月に神奈川県民ホールギャラリーと神奈川県立音楽堂で行われる展覧会・公演の詳細をご紹介します。いずれもそれぞれの施設ならではの空間を活かしたユニークな企画である。

神奈川県民ホールギャラリー

さわひらき展 Whirl

毎年秋に若手作家の企画展を開催して話題を呼んでいる神奈川県民ホールギャラリー。昨年の「日常／ワケあり」をタイトルとしたグループ展に続いて、今年は、ロンドンを拠点に世界的に活躍する映像作家さわひらきの個展が開催される。

県民ホールギャラリーはのべ1,300㎡、5つの展示室をもち、とりわけ約700㎡もの広さがある第5展示室は、その大きさと、1階と地下1階にわたる高さのある吹き抜けの空間が特徴的だ。この空間を構成できる作品であるかどうか作家を選ぶポイントだと、神奈川県民ホール美術部門の学芸員、中野仁詞は語る。

「第5展示室のような巨大な空間をインスタレーション作品に変貌させるには、たくさんのパーツで埋め尽くすという発想ではなく、パーツの関係性、バランス感が決め手だと思っています。さわさんが、国立新美術館での『アーティスト・ファイル』（2008年）に出品された6つのスクリーンからなる映像作品《Hako》を見て、県民ホールギャラリーにもってこいだ！と直感的に思いました」

さわひらきは1977年石川県金沢市生まれ。10代でロンドンに渡り、2003年ロンドン大学スレード校美術学部彫刻科を修了した。35歳の若手ながら、国内外での個展、グループ展でキャリアを重ね、現代アートの世界で国際的に注目を集める存在である。

「どこかで見たような光景でありながら、どこにもない光景——さわさんの作品を説明するときこういう表現をしています。そして、彼の映像を構成する“静かにゆるやかに進行する時間”も特徴的です。どこにでもある身近なもの、誰もが一度は見たことのある光景を、彼独自の詩的なリズムに変換している、と言ったらいいでしょうか」

どこか懐かしく、それでいてシュールな光景が、ゆったり抒情的に広がるさわの映像作品には、見るものをほっとさせる独特な時間が流れている。県民ホールギャラリーの空間がどのように構成されるのか、世界が見守る才能を間近に体験しよう。

第19回

神奈川国際芸術フェスティバル 公演ラインナップ 「オペラ!—ネクスト・ジェネレーションへの試み」

2012年9月→11月 <http://www.kanagawa-arts.or.jp/19kiaf/>

■神奈川県民ホール

オペラ「ハーメルンの笛吹き男」〈世界初演〉 **オペラ** 9月15日(土)～16日(日) 小ホール

東京バレエ団「オネーギン」全3幕 **バレエ** 10月6日(土) 大ホール

〈出演〉斎藤友佳理(タチヤーナ) 木村和夫(オネーギン) 東京バレエ団

〈管弦楽〉神奈川フィルハーモニー管弦楽団

ウィーン国立歌劇場「フィガロの結婚」全4幕 **オペラ** 10月20日(土)、23日(火)、28日(日) 大ホール

■神奈川県民ホールギャラリー

さわひらき展 Whirl **現代美術**

10月23日(火)～11月24日(土) 10:00～18:00(無休)※土曜日は19:00まで。

■KAAT神奈川芸術劇場

「オペラ!/?～ネクスト・ジェネレーションへの試み/から」 **テーマシンポジウム** 10月7日(日) ホール

ウィーン国立歌劇場「小学生のためのオペラ『魔笛』」 **オペラ** 10月26日(金) ホール

「マダムバタフライX」～プッチーニのオペラ「蝶々夫人」より **ネオ・オペラ** 11月10日(土)～18日(日) ホール

〈作曲〉ジャコモ・プッチーニ 〈構成・演出〉宮本亜門 〈編曲〉山下康介

〈出演〉嘉目真木子(蝶々夫人) 与儀巧(ピンカートン) 田村由貴絵(スズキ) 大沼徹(シャープレス) 鈴木純子(ケイト)

吉田伸昭(ゴロー) ほか

■神奈川県立音楽堂

音楽堂で聴く聲明 四箇法要—花びらは散っても花は散らない **音楽**

10月8日(月・祝) 15:00開演 ※14:30からプレトークあり。

〈出演〉声明の会・千年の聲 〈天台聲明〉七聲会 〈真言聲明〉迦陵頻伽聲明研究会 新作曲:宮内康乃 構成・演出:田村博巳

世界の音楽「韓国音楽 歌い語るソリの世界—池成子と韓国伝統音楽の名手たち」 **音楽**

10月14日(日) 15:00開演

〈プログラム(字幕付き)〉

伽倻琴合奏 「成錦齋 カラク伽倻琴散調」/伽倻琴併唱(「春香伝」より)「千字トウィプリ(千字文解き)」ほか/

器楽合奏シナウィ / 唱劇(「水宮歌」より)「うさぎを捕らえる場面」/民謡併唱と器楽合奏

〈出演〉池成子(伽倻琴・唱)/崔慶萬(箏)/元長賢(大琴)/崔宗官(牙箏) ほか

■チケット

チケットかながわ ☎045-662-8866(10:00～18:00)

インターネット予約(24時間対応) **URL** <http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

神奈川県立音楽堂で聴く東アジアの音楽

音楽堂で聴く聲明

四箇法要「花びらは散っても花は散らない」のテーマで行われる。四箇法要とは、752(天平勝宝4)年の東大寺大仏開眼供養でとなえられた、日本で記録されている最古の聲明曲で、唄、散華、梵音、錫杖の4部から成る。本公演では、この四箇法要の荘厳な形式を踏まえ、天台と真言の二つの宗派が、前後半に分かれて担当、中間部には、新進作曲家、宮内康乃の新作聲明が初演される。宮内の新曲「海霧讃歎」は、昨年津波で亡くなった女性が生前に詠んだ「海霧にとけて我が身もただよはむ 川面をのぼり大地をつつみ」という短歌を元に作曲された作品で、自然界に生まれ還って行く死者の魂を描き、上述のテーマ「花びらは散っても花は散らない」(仏教学者・金子大英)という言葉に呼応する。宮内が聲明を書くのは初めてだが、これまで人間の呼吸や声を用いた表現を追求し、2011年に第6回JFC作品賞に輝いた気鋭である。新しい出会いがどのような実を結ぶのか、期待が高まる。

県立音楽堂での聲明公演は、2002年に始まり、今回で5回目となる。構成・演出を務める田村博巳は、「この四箇法要を通じ、わたしたちは死者たちに見守られて生きていることを知り、死者からの語りかけによって、逆に、生のエネルギーをもらいうけることに気づくことでしょう」と述べている。僧侶たちの祈りの声に耳を傾けたい。

韓国音楽 歌い語るソリの世界

～池成子と韓国伝統音楽の名手たち～

韓流映画やK-POPブームで一気に身近になった韓国だが、その豊かな伝統音楽の世界は意外に知られていない。日本の音楽と関係の深い韓国の伝統音楽の世界を紹介する公演が、伽倻琴の名手、池成子を迎えて行われる。(伽倻琴は右のコラム参照)

韓国には、森羅万象の「音」や「声」、人間の「ことば」、そして「うた」そのものまで意味する「ソリ」という言葉がある。今回の公演では、器楽音楽から舞や唱劇(音楽劇)、民謡まで、その多面的な「ソリ」の世界が一举に体験できる貴重なプログラムが用意されている。

特に伽倻琴併唱は、韓国で親しまれている物語(日本ではパンソリの物語として有名)を、伽倻琴で弾き語りをするもので、上演に数時間かかるような長い物語の名場面が、池成子によって情感たっぷりに歌い語られる。これをもっと演劇的に上演する唱劇も楽しみだ。字幕付きなので、物語がじっくり味わえるに違いない。

このほか、言葉をささやくかのように心情を奏でる伽倻琴散調、即興性に富んだ器楽合奏シナウイ、長い袖を巧みに操って解脱に至る喜びを表現する僧舞、躍動感に満ちた民謡などを楽しむことができる。音楽堂のクリアな音響で、韓国音楽の魂を体験したい。

伽倻琴(カヤグム)は、1500年の歴史をもつ朝鮮半島の古楽器です。

古代朝鮮、伽倻国の嘉美王のもとで楽人于勒により創作・演奏され、その後新羅に帰属した于勒とその弟子により改良完成されたという言い伝えがあり、奈良時代には、新羅琴として日本へ渡りました。正倉院に3面が保存されていて、秋の正倉院展に展示されたこともありますので、古の姿を鑑賞された方もいらっしゃるのではないでしょうか。

「伽倻琴は韓国のお琴なのですね」とよく言われるように、小振りですが、見た目は日本の箏(コト)と大変よく似ています。ところが、演奏方法はまったく違います。伽倻琴の演奏者はまず、あぐらをかいて座ります。そして右膝の上に楽器の頭部をのせて右手でつま弾きます。日本の箏は、楽器の頭部の下に鳥居と呼ばれる台を置いて少し高くし、奏者は正座をし、右手の指3本に爪をはめてつま弾きます。伽倻琴の絃は絹の縊り糸から作られていますから(かつては日本の箏もそうでした)、絃と指裏が擦れる音が小さいけれど温もりのある音を出し、人の声に近いと言われます。そう、専門的に言えば、伽倻琴は撥弦楽器で、ツィター属となります。

伽倻琴は、右手で絃をつま弾きながら、その出した音の絃を左手で揺らしたり押さえたりしながら音の高低をつくり、微妙な音色を紡ぎ出していきます。これは、弄絃(ナンソリョン)といって、伽倻琴の奏法としてもっとも独特なものです。弄絃によって、12絃の小振りの絃楽器から、何百何千という音が生まれ続け、その余韻を聴く者の心にしっかりと滲ませていくのは、伽倻琴演奏の醍醐味。日本の箏のぴーんと張りつめた音色は毅然とした美しさをたたえています。伽倻琴はもっと絃の「素」の色をさまざまに伝えていきます。「人の声に近い」から、伽倻琴は語り出すのでしょうか。それこそ、伽倻琴ソリの妙

味。このソリという韓国語は、「音、声、歌」すべてを表わしていますが、伽倻琴ソリと言う時は音色や呼吸まで包含しています。

わたしは、伽倻琴愛好者として練習しています。伽倻琴演奏では、姿勢も大切であり、背筋をまっすぐにして「腕から絃へ水が流れていくように、自然に」と教示されますが、いつも水がこぼれ落ちてしまい、焦りを覚えています。

伽倻琴の師、池成子先生の演奏にふれると、奏者と伽倻琴が一体化してまるでひとつの絵を見ている気持ちになります。節度を保ちながらも時にダイナミックな動きをする左手の弄絃に目を凝らしていると、池先生が音で躍っているように感じられ、こちらも心底弾んでくるのです。

このたびの公演は、池成子と金貴子、ふたりの奏者による「成錦鸞(ソングムヨン)カラク伽倻琴散調(カヤグムサンジョ)」の合奏から始まります。人々の喜怒哀楽や叙情をときに激しく、ときに優しく語り続けてきた壮大な曲です。伽倻琴ソリの集大成です。弄絃の魅力とともに、伽倻琴が紡ぐ深い想いにふれていただけたらと願っております。

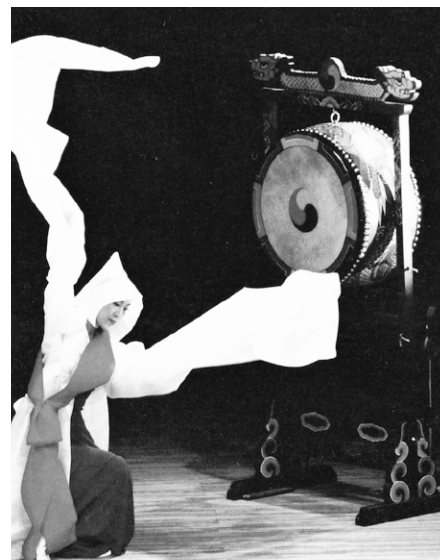
ばくきよんみ(詩人)



伽倻琴を演奏する池成子2010年、日本民藝館での公演
Photo by A.Kajiwara



聲明



撮影:青木司

韓国音楽 歌い語るソリの世界《僧舞》

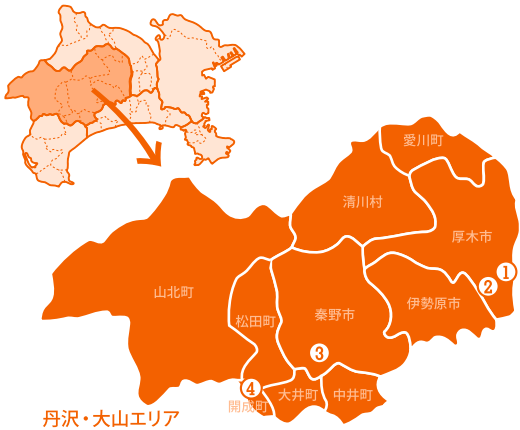


池成子

Photo by Ryu Eunky

丹沢・大山エリアに注目!

登山やハイキングにぴったりの季節到来です。丹沢山系に抱かれたこのエリアは、豊かな自然に恵まれています。宮ヶ瀬湖や丹沢湖、そして丹沢の山並みを彩る紅葉の美しさは、神奈川の魅力を堪能させてくれることでしょう。



丹沢・大山エリア



丹沢の紅葉 撮影:神奈川県立宮ヶ瀬ビジターセンター

*事前に各施設にお問合せのうえ、お出かけください。

① にぎわい爆発! あつぎ国際大道芸2012

今年も「厚木の街を元気にする」恒例の大道芸が行われる。国内外のアーティストが厚木に集結。小田急線本厚木駅周辺を所狭しと、アクロバットやジャグリング、パントマイムなどを繰り広げる。大道芸演技スポットが設けられたエリアには、あつぎグルメフェアや物産展、手作りアート市なども開かれ、厚木の街全体を楽しめる趣向となっている。
11月10日(土)、11日(日) 10:30~18:30
お問合せ: ☎046-225-2840

② 厚木市文化会館

厚木シアタープロジェクト ネクストステップ第3回公演
「人情噺『^{はがたき}端敵★^{てんがちゃや}天下茶屋』」
10月13日(土) 18:00、14日(日) 14:00 厚木市文化会館小ホール
脚本・演出:横内謙介
出演:岡森諒、六角精児、中原三千代、有馬自由ほか
全席指定 前売り4,200円、当日4,500円、学生3,000円
お問合せ: ☎046-224-9999

③ 秦野市文化会館

丹沢の自然に抱かれたホール。
山形由美(フルート) & 荘村清志(ギター) デュオリサイタル
9月30日(日) 15:00 全席指定3,500円
高田匡隆ピアノリサイタル
10月21日(日) 15:00 全席指定2,500円
神奈川フィル応援チャリティコンサート
加藤雅彦テノール&フレンズ 11月11日(日) 14:30
全席自由 一般2,000円、学生1,000円 いずれも小ホール
お問合せ: ☎0463-81-1211

④ あしがり郷 瀬戸屋敷

開成町北部の金井島にあり、江戸時代に旧金井島の名主を代々つとめた瀬戸家の屋敷。県内でも有数の規模の大きい寄棟造りの茅葺屋根の主屋をはじめ、土蔵、水車小屋、井戸などがある。江戸時代の農村文化を今に伝える町重要文化財である。
10:00~17:00 休園:月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始。
入場無料。9月30日(日)にはお月見を開催。
お問合せ: ☎0465-84-0050

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

定期演奏会 会場:横浜みなとみらいホール

第284回 10月12日(金) 19:00開演
指揮:キンポー・イシイ=エトウ
ヴァイオリン:シン・ヒヨンス
ブラームス/ヴァイオリン協奏曲、
ラヴェル/ラ・ヴァルス 他
第285回 11月23日(金・祝) 14:00開演
指揮:金聖響 ピアノ:ゲルハルト・オピッツ
ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第5番「皇帝」、
R.シュトラウス/交響詩「英雄の生涯」
\$6,000円 A4,500円 B3,000円 他
お問合せ:神奈川フィル・チケットサービス
☎045-226-5107(平日10:00~18:00)
<http://www.kanaphil.or.jp/>

県立神奈川近代文学館

特別展「生誕140年記念 島崎藤村展」

明治中期に『若菜集』で浪漫派の詩人として出発、自然主義文学の代表作「家」や、明治維新を背景に時代の変転に運命を翻弄された父の悲劇的生涯を描いた大作「夜明け前」などを著した島崎藤村(1872~1943)。日本近代文学を代表する<文豪>藤村の情熱的な人生とその作品を紹介。
10月6日(土)~11月18日(日)
※月曜休館(10月8日は開館)
一般600円 65歳以上・20歳未満・学生300円
高校生100円 中学生以下無料
横浜市中区山手町110
(みなとみらい線「元町・中華街駅」徒歩8分)
☎045-622-6666 <http://www.kanabun.or.jp/>

神奈川県県民局暮らし文化部文化課

能楽×弦楽アンサンブル×邦楽器
「いざ、鎌倉!~伝統と新たな創造へ~」
プログラム①「武士(もののふ)のこころ」
11月14日(水) 13:30開演 会場:建長寺・龍王殿
プログラム②「鎌倉発・再生する伝統!」
11月18日(日) 14:30開演 会場:鎌倉能舞台
「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録に向けて、神奈川フィルと鎌倉にゆかりのある能楽や和楽器とのコラボレーション公演に、県民の方を無料でご招待いたします。
入場無料。往復はがきによる事前申込。
10月19日(金)必着。※①は建長寺拝観料300円が必要。
申込方法は下記の県ホームページから確認ください。
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f420409/>
お問合せ:文化事業グループ ☎045-210-3808

公益財団法人神奈川芸術文化財団 賛助会員

法人賛助会員

- 愛知株式会社
- 株式会社アクトエンジニアリング
- 株式会社浅岡装飾
- 株式会社朝日工業社横浜支店
- アサヒビル株式会社
- 株式会社アサヒファシリテイズ
- 学校法人岩崎学園
- 株式会社ヴォートル
- 株式会社NHKアート
- 株式会社オーチャー
- 株式会社勝烈庵
- 神奈川県信用保証協会
- 神奈川県民共済生活協同組合
- 神奈川県理容生活衛生同業組合
- 株式会社神奈川孔文社
- 株式会社神奈川保健事業社
- 神谷コーポレーション株式会社
- カヤバシステム マシナリー株式会社
- 川本工業株式会社
- かをり商事株式会社
- 株式会社共栄社
- 株式会社キョウエイ装備
- 株式会社合同通信
- 香山斎夫建築研究所
- コトブキシーティング株式会社
- 株式会社さが美
- 株式会社ジェイエムアンドカンパニー
- 株式会社ジェイコムイースト横浜テレビ局
- 財団法人シルクセンター国際貿易観光協会
- 鈴鹿かまぼこ株式会社

生活協同組合コープかながわ

- 生活協同組合バルシステム神奈川ゆめコープ
- 生活クラブ生活協同組合
- 株式会社清光社
- 株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ
- 大栄電子株式会社
- 月島機械株式会社
- 株式会社テレビ神奈川
- 株式会社東急エージェンシー
- 東工株式会社
- 東神工芸株式会社
- ナイス株式会社
- 奈良建設株式会社
- 株式会社日建設計
- 日産自動車株式会社
- 日生商工株式会社

株式会社野毛印刷社

- パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社
- 株式会社日立システムズ
- 平安堂薬局
- 株式会社ホテル、ニューグランド
- 丸茂電機株式会社
- 三沢電機株式会社
- 森平舞台機構株式会社
- ヤマハサウンドシステム株式会社
- 株式会社有隣堂
- 株式会社豊商會
- 株式会社ユニコーン
- 株式会社横浜アーチスト
- 横浜エレベーター株式会社
- 横浜新都心センター株式会社
- 横浜信用金庫

株式会社横浜ステーションビル

永年個人賛助会員

川村恒明

個人賛助会員

江田真子

大島正博

金子祐子

河崎一公

黒瀬博晴

本田正男

三角京子

協賛・協力

能舞台協賛

ナイス株式会社

協力

神奈川総合設備株式会社

神奈川トヨタ自動車株式会社

崎陽軒

コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社

鈴鹿かまぼこ株式会社

株式会社東芝 首都圏南支社

株式会社野毛印刷社

野村證券株式会社横浜支店

聘珍樓 横浜本店

株式会社ポートサービス

三菱地所株式会社

(匿名:1社、2名)

(2012年8月14日現在)

賛助会員募集のご案内

公益財団法人神奈川芸術文化財団では、賛助会員の制度を設立し、広くみなさまのお力添えをいただいております。お問合せ:公益財団法人神奈川芸術文化財団 広報営業課 ☎045-633-6520

貴族たちの華麗な恋模様。モンゴルから馬頭琴のお話と音楽。 2つの個性的な演目をご紹介します!

神奈川県民ホール年末年越しスペシャル ファンタスティック・ガラコンサート2012 華麗なるオペラ&バレエ 「貴族たちの悦楽 ～ヒロインたちのドラマティックな愛」

この上なく贅沢で華麗な音楽と
 バレエのフルコースを召し上がれ!

7回目を迎える今年のテーマは「華麗なるオペラ&バレエ」。華やかで潇洒な貴族たちが繰り広げるドラマティックな恋模様を、オペラ、バレエ、オーケストラの名曲で綴る華麗な舞台をお贈りします。松尾葉子、宮本益光、上野水香、高岸直樹などおなじみのメンバーに加えて、清楚な舞台姿と美しい歌声が印象的なソプラノ・安藤赴美子と、ソリストとしての活躍に加え男性オペラ歌手ユニット「IL DEVU」でも話題の望月哲也が登場。さらに数々のコンクールや音楽賞を受賞、斬新なレパートリーを誇るギタリスト・鈴木大介も。年末にふさわしい、贅沢で美しい音楽と歌声、そしてバレエの余韻で、希望に満ちた新しい年をどうぞお迎えください。



昨年の「ファンタスティック・ガラコンサート」より photo:Kiyonori Hasegawa

12月29日(土) 15:00開演
 神奈川県民ホール大ホール
 全席指定 S7,000円 A5,000円 B3,000円 学生(24歳以下)2,000円 S席ペア12,600円
 主催:神奈川県民ホール(指定管理者:公益財団法人神奈川芸術文化財団)

指揮:松尾葉子
 司会・バリトン:宮本益光
 ソプラノ:安藤赴美子 テノール:望月哲也
 ギター:鈴木大介
 バレエ:上野水香 高岸直樹(東京バレエ団)
 管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団

オペラ
 プッチーニ/「蝶々夫人」～ある晴れた日に
 ロッシーニ/「セヴィリアの理髪師」
 ～私は町の何でもや ～空はほほえみ
 ヴェルディ/「椿姫」
 ～ああ、そは彼の人か ～花から花へ ほか

バレエ
 ピアソラ/「リベルタンゴ」(高岸直樹振付) ほか

オーケストラ
 シュトラウスⅡ/「こもり」～序曲
 レスピーギ/「ローマの祭」～主顕祭 ほか

ギター
 タレガ/「アルハンブラの思い出」 ほか



松尾葉子



宮本益光



安藤赴美子



望月哲也
 photo:Kohei Take



上野水香
 photo:Shitomichi Ito



高岸直樹



鈴木大介

KAATキッズ・プログラム2012 モンゴル国立馬頭琴オーケストラ×竹下景子 「白い馬の物語」 日本・モンゴル外交関係樹立40周年記念事業

竹下景子の朗読による少年スーホと白い馬との出逢いと、
 馬頭琴の音楽会。モンゴルの大地を感じるひと時。

絵本や教科書として40年以上にわたり親しまれてきたモンゴルの伝承民話「スーホの白い馬」。モンゴルの伝統楽器・馬頭琴の誕生秘話が描かれたお話を、朗読劇『白い馬の物語』として上演します。合わせて、馬頭琴を主軸としたモンゴル国立馬頭琴オーケストラが来日し、その演奏とともに、栗山民也による演出のもと女優・竹下景子が朗読をします。



モンゴル国立馬頭琴オーケストラ

11月23日(金・祝) 15:00開演
 KAAT神奈川芸術劇場 ホール
 全席指定 子ども(高校生含む)2,000円 大人4,000円 親子チケット5,000円
 ※U24チケット、シルバー割引あり(詳細はHPかお問合せ)
 主催:KAAT神奈川芸術劇場(指定管理者:公益財団法人神奈川芸術文化財団)

脚本:島守辰明
 [参考図書:「スーホの白い馬」(大塚勇三再話/福音館書店刊)ほか]
 演出:栗山民也
 音楽監督:乙黒正昭
 作曲・編曲:ジャンバスレン・シャラブ
 指揮・編曲:ツェンド・バットチョルーン
 出演:竹下景子(朗読) モンゴル国立馬頭琴オーケストラ(演奏)



竹下景子

ものがたりをつくろう!～ゲルと馬頭琴を使った演劇ワークショップ～

11月23日(金・祝) 11:00～12:30 [対象]小学生～大人 [定員]20名
 モンゴルの伝統移動式住居「ゲル」をKAATの中スタジオに設置し、その中で馬頭琴の音色を聴きながら様々な「絆」について想像を膨らませる体験演劇型ワークショップ。お申込み方法等の詳細はKAATのホームページからご確認ください。

チケットの
 お求めは

インターネットチケット予約(24時間受付)
<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

チケットかながわ 045-662-8866 (電話10:00～18:00)
 (県民ホール窓口10:00～18:00/芸術劇場窓口10:00～18:00/音楽堂窓口13:00～17:00月休)

WHAT'S ON? 15

横浜・山下町周辺のアート、コンサート、イベント情報ピックアップ

① 原鉄道模型博物館



横浜ジオラマ

7月10日、鉄道発祥の地である横浜にオープン。世界的に著名な鉄道模型製作・収集家である原信太郎氏のコレクションから選りすぐった鉄道模型約1,000両を展示し、その一部を一番ゲージ(縮尺約1/32)のジオラマで走行させている。横浜の街並みを表現した「横浜ジオラマ」もある。
 開館時間: 11:00~18:00(入館は17:30まで)
 休館: 火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
 入館料: 大人1,000円、中学・高校生700円、小人(4歳以上)500円
 お問合せ: ☎045-640-6699(平日11:00~18:00)
<http://www.hara-mrm.com/>

② 神奈川県立歴史博物館



鎌倉時代の古文書と輸入された青磁碗

特別陳列「夢窓疎石と鎌倉の禅宗文化」 開催中~9月28日(金)
 特別展「再発見! 鎌倉の中世」 10月6日(土)~12月2日(日)
 開館時間: 9:30~17:00(入館は16:30まで)
 休館: 10月8日を除く月曜日、資料整理日(10/2、3)、年末年始
 観覧料: (特別陳列)常設展観覧料でご覧いただけます。
 (特別展)一般900円、20歳未満・学生600円、高校生・65歳以上100円
 中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方は無料 お問合せ: ☎045-201-0926

③ KAAT神奈川芸術劇場



『家康と按針』
 12月1日(土)・2日(日) KAAT神奈川芸術劇場<ホール>
 徳川家康の天下統一を支えた青い目のサムライがいた。彼の名は三浦按針。
 家康と按針の知られざる友情を描いた、日英合作舞台。
 演出: グレゴリー・ドーラン(RSC)
 出演: 市村正親 古川雄輝 高橋和也 植本潤 床嶋佳子 小林勝也 他
 日英、豪華なキャストが集結
 料金: 全席指定 S8,500円 A6,500円 B4,500円 他
 チケット: ☎045-662-8866(チケットかながわ)



MAP AROUND Yokohama, Kanagawa

新・森さんぽ3

森日出夫さん撮影の写真でめぐる横浜歴史散策

横浜ジャズ・ストーリー ~ちぐさ~

戦前のジャズの歴史は、ダンス・ミュージックの歴史です。日本のダンスホールの草分け的存在だった鶴見の花月園舞踏場が関東大震災で倒壊した後、横浜には「チャブ屋」と呼ばれるダンスホールがいくつかできました。同じ頃、市内にジャズ喫茶も登場します。

横浜のジャズの歴史を語る際に欠かせないジャズ喫茶「ちぐさ」のオーナー、吉田衛氏(1913~94)が野毛1丁目に店を開いたのは1933年。戦中戦後の混乱期に店もレコードもすべて失い、焼け野原となった野毛に戻った吉田さんは、戦後、元の場所に家を建て、「ちぐさ」を復活させます。やがて店はプロのミュージシャンたちのたまり場となりました。

「ここは音楽鑑賞店だ」として客の私語を禁じ、酔客を追い返すなど、独特な頑固オヤジだった吉田さんを慕う常連客で、店はいつもあふれていました。「ちぐさ」はジャズの良き聴き手を育てる場でもあったのです。2007年の閉店後、復活を望む声が高まり、今年3月、野毛の別の場所に新装オープン。2階に併設された「吉田衛記念館」には、かつての店内が忠実に再現されています。

監修: 柴田浩一



2012年3月に復活した「ちぐさ」



2007年、惜しまれつつ73年の歴史に幕をおろした「ちぐさ」

県内のアート情報はここで探そう!

<http://www.kanagawa-at.info/>
 「かな@」で県内のアート情報を検索できます。



かながわメンバー
Kame
 KANAGAWA members

登録無料! メルマガ定期配信

第19回

「オペラ! —ネクスト・ジェネレーションへの試み—

神奈川国際芸術フェスティバル

芸術総監督... 一柳 慧

KAAT芸術監督... 宮本 亜門

2012.09→11

神奈川県民ホール/KAAT神奈川芸術劇場/神奈川県立音楽堂

URL <http://www.kanagawa-arts.or.jp/19kiaf/>
 チケットかながわ ☎045-662-8866(10時~18時・無休)